

令和 8 管理年度（令和 8 年 9 月～令和 9 年 8 月）
 べにずわいがに日本海系群（大臣許可水域）
 漁獲可能量（TAC）の設定及び配分について（案）

令和 8 年 5 月
 水 産 庁

1 TAC（案）

（1）設定の考え方

- ① 直近の資源水準の値（注 1）と限界管理基準値の大小を比較した結果、及び直近の資源水準の値と目標管理基準値の差に基づき、漁獲量を調整する係数を算出する（漁獲シナリオ）（注 2）。
- ② 直近 5 年の我が国漁船及び韓国漁船の漁獲実績の平均値（注 3）に①の漁獲シナリオから導かれる係数(0.87)を乗じた値をABCとし、TACは当該値に0.33（資源評価対象水域における外国による漁獲を考慮するための値）を乗じた値を超えない量とする。

注 1：現在の資源評価手法では資源量の絶対値が推定できないことから、日本海べにずわいがに漁業の標準化 CPUE（Catch Per Unit Effort/単位漁獲努力量当たりの漁獲量）を代替の「指標（資源量指標値）」として使用。

注 2：現在の資源評価手法では資源量と漁獲圧力の絶対値が推定できないことから、代替の漁獲シナリオを使用。

注 3：現在の資源評価手法では資源量が予測できないことから、過去の漁獲実績の平均値を代替として使用。

（2）令和 8 管理年度（令和 8 年 9 月～令和 9 年 8 月）の TAC（案）

特定水産資源	TAC
べにずわいがに日本海系群（大臣許可水域）	8,443 トン

（参考 1）資源管理の目標（注：現在の資源評価手法では資源量の絶対値として設定することができないため、下記を代替として使用）

- (1) 目標管理基準値：過去の資源量指標値の頻度分布データに正規分布をあてはめたときの 80 パーセントに相当する資源水準の値
- (2) 限界管理基準値：過去の資源量指標値の頻度分布データに正規分布をあてはめたときの 56 パーセントに相当する資源水準の値

(参考2) 漁獲実績の推移

単位：トン

R6 (2024年)	R5 (2023年)	R4 (2022年)	R3 (2021年)	R2 (2020年)
5,561	5,939	4,460	4,840	4,513

2 配分(案)

全量をべにずわいがに日本海系群(大臣許可水域)日本海べにずわいがに漁業に配分する。

令和8管理年度べにずわいがに日本海系群（大臣許可水域）漁獲可能量（TAC）の
設定及び配分について（案）

特定水産資源	TAC（トン）
べにずわいがに日本海系群 （大臣許可水域）	8,443



大臣管理分	
大臣管理区分	数量（トン）（注）
日本海べにずわいがに漁業	8,443

注：IQにより管理